

保線部門におけるメンテナンス体制の最適化について 提案を受ける！

提案要旨

- 保線部門では「メンテナンス体制の再構築」(2001年)にて、当社は設備管理、パートナー会社は施工の技術集団とする体制を構築し、その後「メンテナンス体制の改善」(2010年)を経て、効率的な業務執行体制を構築してきた。
- 今後、生産年齢人口の減少による収入への影響や、設備メンテナンス従事員の確保が厳しくなると想定される。メンテナンスを維持するには、より一層効率的で生産性の高い業務体制をパートナー会社と一体で構築することが必要である。
- そのために、最新技術を用いた新たなメンテナンス手法の導入と、閑散線区における保守業務と組織体制の見直しを行うと共に、現場感覚と技術的な判断に基づく適切な線路メンテナンスの実践を支援する体制を構築し、最適化を図る。

1 実施事項

(1) 線路設備モニタリングによる新たなメンテナンス手法の導入

技術開発を進めてきた線路設備モニタリング装置を活用し、新たに同装置による線路総合巡視を在来線の巡視方法の一つに加え、巡視及び検査を全体として適切な頻度で実施するなどの検査体系の見直し等を図る。

- ①検査体系の見直し …徒歩等による線路総合巡視の周期延伸及び材料検査との組合せ実施
- ②引継検査の業務見直し …工事施工後の軌道の仕上がり状態検査(引継)における現場での確認業務の一部省略
- ③保技セ業務の効率化 …線路設備モニタリングによる効率的なメンテナンスの実施による業務の見直し

(2) 閑散線区の保守業務の見直し

閑散線区では、P社との連携を更に深め、より効率的な体制とし、現在移管している業務に加え、修繕要否の判別を含む軌道の検査および修繕をP社で実施する。なお、設備管理に対する最終的な判断は、当社が実施する。

【対象線区】 …閑散線区：年間通過トン数5百万トン未満で
輸送密度が4千人/日規模以下の線区

◆「閑散線区の保守業務の見直し」対象区間

内房線	君津(除)～安房鴨川(除)
久留里線	木更津(除)～上総亀山
鹿島線	香取(除)～会社境界
成田線	香取(除)～松岸(除)

※新金線、小名木川支線は対象外

- ①保守業務の移管拡大 …徒歩等による線路総合巡視及び当社で実施してきた検査等保守業務のP社への移管
- ②認定制度の導入 …パートナー会社従事者に対する認定線路技術者制度の創設
- ③組織等の見直し …一部保技セの集約とエリアセンター新設、保技セのエリア変更を行う。現在の木更津保技セと大網保技セの境界を変更の上、木更津保技セは千葉保技セに集約し、木更津エリアセンターとして再配置する。更に大網保技セに勝浦派出を新設する。

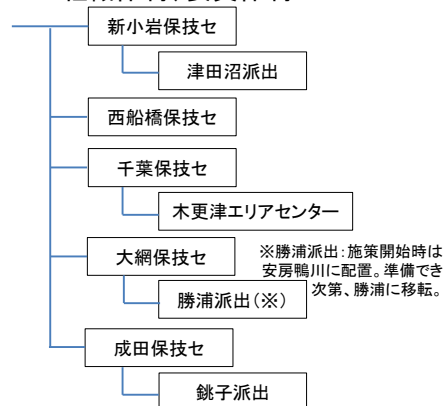
(3) 保線部門の技術支援体制の再整理

世代交代が進む保技セにおいて適切な技術判断ができる体制をより効率的に確立するため、これまでの人材育成強化に加え、専門的な技術支援を可能とする体制を整備する。これに伴い、代表保技セの技術教育科の役割を見直す。

(4) その他の要員配置の見直し

これまで進めてきた仕組みの変更等の効果発現を精査し、必要な要員を配置する。

2 組織体制、要員体制



箇所名	標準数(実施後)※注	本施策による増減	記事
新小岩保技セ	管理5 一般21	管理±0 一般 △3	
西船橋保技セ	管理4 一般16	管理±0 一般 △1	
千葉保技セ	管理8 一般38	管理+1 一般 +7	技術支援体制の再整理と、木更津エリアセンターの配置を含む
大網保技セ	管理5 一般21	管理+1 一般 +1	勝浦派出の新設を含む
成田保技セ	管理5 一般21	管理±0 一般 △3	
木更津保技セ	管理0 一般 0	管理△5 一般△25	木更津エリアセンターとして千葉保技セへ集約
設備部保線課	管理1 一般25		

※注：「標準数(実施後)」欄は、「設備関係技術センター総務科業務の見直し(5月10日実施予定)」と本施策の、**両施策の実施後の標準数**を示す。
「本施策による増減」欄は、本施策のみの増減を示す。

3 実施日

- (1) 閑散線区の保守業務の見直し、保線部門技術支援体制の再整理、その他の要員配置の見直し…**2018年7月1日**
- (2) 線路設備モニタリングによる新たなメンテナンス手法…**線区ごとにもモニタリングシステムの導入を経て実施する**

4 その他

社員への必要な教育は実施する。

提案にあたっての確認事項

- ①モニタリングによる新たなメンテナンス手法導入にあたっては、十分に準備を行い、しっかり対応できるようになってから要員の見直しを行う
- ②現場に行く機会を確保し、JR社員の技術力・判断力を維持・向上できる
- ③異動や出向、エルダーへの移行に際しては、希望を丁寧に把握していく

安全・技術力・働きがいを向上できる施策とするため、保線職場の仲間の声をもとに、時間軸を意識して会社への申し入れ・団体交渉を行っていきます！